


世界の



おどろき・
きらめき・
多様な 

ビーズは身近な装飾材料として親しまれ、現在も衣服や装身具などに広く用いられています。ビーズによる装飾は古くから世界各地で行われてきましたが、それは単なる装飾にとどまりません。それを身に着けることで、民族、性別や年齢、社会的立場といったアイデンティティを表したり、また、より多くのビーズや珍しいビーズを所持することで富や権力を象徴することもあります。さらには連なった玉に祈りを込める数珠など、精神世界とつながるための役割を果たすこともあります。ビーズの素材は、身のまわりにある木や石など入手がたやすいものから、宝石のような自然界の貴重な鉱物、ガラスやプラスチックといった合成素材など、地域や時代によってもさまざまです。また、ビーズの加工技術の工夫や進歩は、多彩な表現を可能なものとしています。本展では、交易品として珍重されたガラス・ビーズ「トンポ玉」、ヨーロッパのきらびやかなビーズ刺繍のドレス、象徴的な意味を持つアジアやアフリカの各民族の衣服や装身具など、多種多様な約40か国のビーズを紹介します。

世界の民族とビーズ



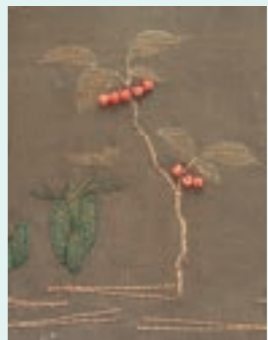
王冠 アデナイジェリア 1960-70年代



上衣 フィリピン 20世紀前半



女性用衣装 ポーランド 1982年頃



着物(部分) 日本 19世紀末



女性用衣装 アフガニスタン 1970-80年代

特別出品 田川啓二 オート・クチュールのビーズ刺繍



イヴニングドレス フランス ジャン・バトゥ 1923年頃



バッグ フランス 1910-20年代



ピンクッション イギリス 19世紀後半

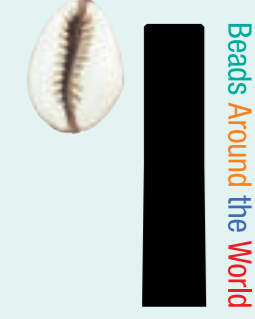
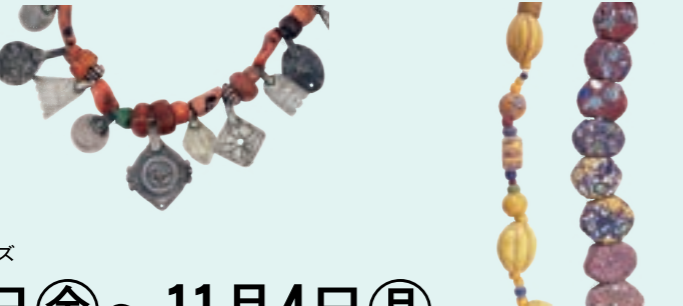
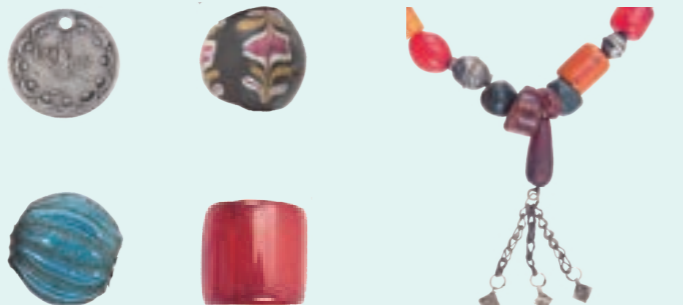
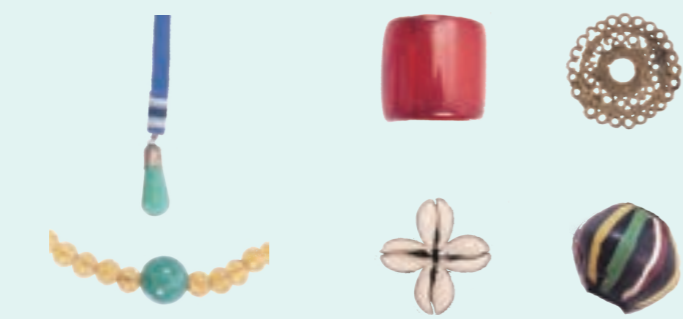
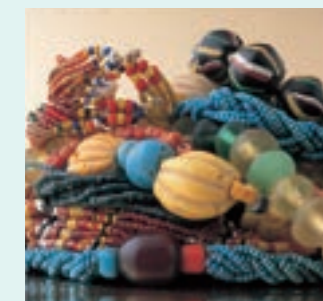
ファッションとビーズ



ジュエリッドレス 2007年



ベイズリッドレス 2004年

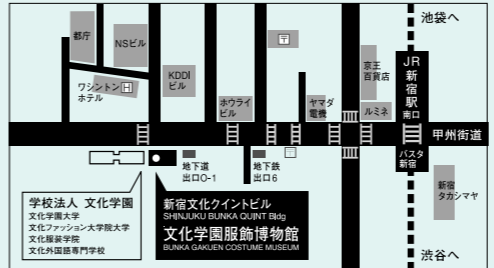


主催 文化学園服飾博物館
協力 田川啓二美術館、株式会社ラトルズ

2024年7月19日(金)～11月4日(月)

開館時間 10:00～16:30 (8月30日(金)、10月25日(金)は19:00まで開館、入館は閉館の30分前まで)
休館日 日曜、祝日、振替休日、8月9日～18日 ※7月28日、8月25日、11月3日、11月4日は開館
入館料 一般500円、大高生300円、小中生200円 ※障がい者とその付添者1名は無料
ギャラリートーク 8月3日(土)、10月12日(土)13:30～(12:30より受付順30名)

文化学園服飾博物館
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM
〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル



文化学園服飾博物館
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM
〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル
TEL.03-3299-2387 JR・京王線・小田急線新宿駅(南口)より徒歩7分
都営地下鉄新宿線・大江戸線・京王新線新宿駅(新都心口)より徒歩4分 地下道出入口O-1に隣接

学校法人文化学園
文化学園大学 / 文化ファッション大学院大学 / 文化服装学院
文化外国語専門学校 / 文化出版局 / 文化学園服飾博物館



販売中『世界のビーズ図鑑』
文化学園服飾博物館 編著
ラトルズ刊 2,980円+税

